



野比だより

横須賀市立野比中学校

平成31年(2019年)1月11日(金) NO. 57

保護者の方と一緒に読みましょう

新しい年のスタートだ!



さあ～2019年、新しい年のスタートだね。様々な状況の人がいるので、「今年もよろしくお願いします」という挨拶にとどめましょう。

保護者のみなさま方にも、昨年度は、各行事での応援や、検定ボランティア

への協力等々、本当にありがとうございました。

また、学校評価では多くのご意見をいただきました。これにつきましては校内で検討を進め、年度内には次年度の方向性を示したいと考えております。

さて**生徒諸君**、今年の干支は、すでにご存じの通りだが「亥(い)、いわゆる「いのしし」です。すでに紹介したが、イノシシといえは**猪突猛進**ですね。

意味は「**後先を考えずに勢いに任せて行動をした**」です。だけど、十代の君たちには、この「**瞬間的な行動力**」が逆に必要なのではないのでしょうか。

「失敗したらどうしよう」**もう一回やればいい**」「うまくいかなかったらどうしよう」**友達が支えてくれるよ**」「何か言われたらやだな～」**どの世界にも必ず**

照 明 灯

負けは変わるきっかけになる。将棋の羽生善治さん

が負け方の効用について書いている。
「勝っている時や順調な時に方向転換するのは難しいが、負けている時ならばさまざまな変化をしやすいからだ」(大局観)、「角川書店刊」。刻々と変容する現代の将棋界にあつては、自分なりのスタイルをどう貫き、新たに作り上げていくかが大事だ、と▼羽生さんが竜王戦で敗れ、27年ぶりに無冠となった。1989(平成元)年の竜王戦で初めてのタイトルを手にして以降、96年に7冠を制覇したのを頂点に、2012年には通算のタイトル獲得を史上最多の81期に延ばすなど数々の記録とともに歩んできた▼「実力が足りなかった。また力をつけて次のチャンスをつかめたらいい」。あらゆる尊称を冠せられてきた羽生さんにして、この物言いである。穏やかな口調に秘められた、道を究めようとする者の峻烈な意志を感じる▼先の書では、挑戦することの効用にも触れている。挑戦者にとって最も手ごわい敵は漠然とした不安であり、それを解消する手だては現実を真正面から見据える勇氣だといふ▼敗れざる者としてまばゆい存在だった羽生さんに、これまで以上に肩入れする方もありだろう。次のチャンスをせひ物にしてほしい。

【2018-12-25】

いるもんだよ。その人のために君が成長するチャンスを失ってもいいのか!!」と
思っているんだ。

だから先生は言い続けるんだ。「**chanceだ! Changeだ! Challengeだ!**」と。

さて君は、どんな目標(「今年は…」「今年こそは…」)を持ちましたか。

私たちには、いくつか**chance**が用意されています。

chance(チャンス)とは「何かを行うのによい機会のこと=(好機)」です。

例えば「新しい年になる」も大きな**chance**です。また、「環境が新しくなる」季節を迎えます。具体的には、3年生だと「(高校へ)入学する」、1、2年生だと「**進級し、新しいクラスになる**」ということになるね。

左の新聞記事を読んでみて下さい。その中に、「**挑戦者にとって最も手強い敵は漠然とした不安であり、それを解消する手立ては、現実を真正面から見据える勇氣だといふ…**」とあります。確かに「挑戦する」行為には、明確な結果がでます。でも、後戻りできないような結果は出ないと先生は考えているのです。

違いますか…?

さて3年生よ…。1月は「志願先を決定する」時期ですね。まさに君たちは「挑戦者」なのです。この時期は、なぜか勉強すればするほど漠然とした不安が増します。しかし、それは誰にも解消することはできません。まさに現実(例えば自分の弱点)を見据え、ひとつひとつクリアしていく具体的な行動しかありません。

ただひとつ支えになることは、この不安は受験を控えている全員が持っているものなのです。それは間違い有りません。

そして2年生…。あなたたちもすでに「高校入試に向けた取り組みがスタートしている」ことを自覚していますよね。2月末には「定期テストIV」があります。

定期テストI～IVと、日常の授業の取り組む姿勢等が総合的に評価されます。その成績は「学習の記録(内申点)」として選抜資料となります。まさに1年間の仕上げの時期なのです。

<p>理解遅くても私は負けない 大学生20歳 勉強が苦手で、要領の悪い私が高校、大学受験を乗り越えてきた。好きな教科はあっても、得意教科が一つもない。夜遅くまで勉強して眠くなっても、あと30分頑張れば数学が分かるようになるかもしれない、と根拠もないのに自分を励ましていた。</p>	<p>こんな風なので、朝机の上で目覚めることも珍しくなかつた。あきらめないのと前向きな考えが、私をここまで引っぱり張ってくれた。時には仲間にも「そんなに勉強してこの成績なの」と言われ、理解力のない自分に涙した。不器用で勉強嫌いな私にしてみれば精いっぱいだった。しかし、他人に認められなくても伸びている手応えはあつた。</p>	<p>今私は、将来を左右する試験を数カ月後に控えている。やはり精神的に苦しい。100回書いても覚えられない単語は、101回書くしかない。それでも覚えられないのなら、何回でも書こうではないか。</p>	<p>夢を切り開くためだ。出た。来るといっても信じて持続するしかないのだ。私は負けない。</p>
--	--	---	--

みなさんに信じてほしいこと

みなさんに信じていてほしいことがあります。どんなに努力をしても、求める結果を得られない

ことがあります。簡単に言うと、「**努力は裏切るときもある**」です。しかし、絶対に言い切れることは「**努力をした行動・精神は、決してあなたを裏切らない**」です。

なぜなら、社会に出たら100回チャレンジして失敗しても、101回目にチャレンジする力が求められているのです。**野比中生よ! 自信を持ってほしい。君の限界はもっと上にあるんだ!!**